発行月：平成 29 年 11 月　家族新聞　第 521 号

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 髙橋賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
（渋川福祉センター内）
TEL 0561-51-2878

「常識でいうやと、おさらばしたときに自由という名の切符が手にはいる」

「あさがくる」「あそび屋」と「あそばせ屋」

日本人の多くはキバを抜かれた猪つまりは豚となるだろう。

「豚舎そのものは、ひじょうにいいのです。あるいはしばしばエア・コンディショニングさえもほどこされている。壁は清潔で床はみがかれている。内部をのぞいてみると、おおきな牡ブタが一匹ねむっている。そばに牡ブタがいて横に子ブタが何匹かいる。かれらはみちたりて、こんこんとねむっている」。

こういうのが将来における日本の青年たちの現実的なイメージになってくる。しかもエア・コンディショニングはあるかもしれませんが、それはだれかにコントロールされている。だれかににぎられているのです。

しかしその状況を肯定するかぎり、一家の生活はたいへん快適なのです。

人間は何かに不満であるかぎりキバをもって戦おうとするが、現代社会のように欲望のほとんどが満たされてしまうと、よそのことがないとその環境から抜け出せなくなる。

「文化チャルキー発散のすすめ」によると、そこではあそび屋とあそばせ屋がいそがしく動き回っているのではないか。

破壊工学とあわせて、解散経営学もあり、そういう会社組織が出てくるかも知れない。

地域環境活性化協議会代表挨拶、環境フォーラム2017年オープニング音楽「木枯らしのエチュード」（作曲 ショパン）は岩崎宏美「シンデレラ・ハネムーン」、27年度は津軽海峡・冬景色（石川さゆり）

みんなの朝ドラ

関東だけで3687万世帯が観ている。

「思い出の朝ドラは何ですか。」

"朝ドラ"とは、NHKで月～土曜の朝8時00分から15分間放送されているドラマの愛称で、正式名称は「連続テレビ小説」その第1作は1961年に放送され、東京五輪が開催される2020年には100作を超えているであろう、ご長寿シリーズだ。

その昔、テレビは家族が集まる「お茶の間」に鎮座していたが、朝ドラにとてはきさにその状態こそがるさわしかった。なぜなら、朝ドラは"ホームドラマ"だからだ。

▲ 表彰される小学・中学生。社会貢献認定証を授与王置委員長より

平成二十九年十一月十二日(日)第十三回環境フォーラム午前十時から準備本番午後一時より

地域奉仕活動奨励委員会